



表彰を受ける受賞者代表

「功労者を表彰「市環境衛生大会」」

市と市公衆衛生組合連合会（鈴木久男会長）主催の市環境衛生大会が8月10日、前沢ふれあいセンターで開催され、関係者など約180人が出席しました。大会では、公衆衛生の向上に功績のあった9団体と35人に感謝状、表彰状を贈呈。不法投棄をなくし、地域の美化活動、ごみの減量化などで住みよい生活環境に向け決意を新たにしました。



鋳物工場を視察するプールの市一行

「中国・プールの市視察団が来訪」

中国雲南省プールの市政府の経済視察団11人が8月9日に市を訪れ、及源鋳造（株）などを視察しました。プールの市は平成22年に県と地域間協力協定を結んでおり、プールの茶と相性が良いとされる南部鉄道の販路拡大を促進することを目的に訪れたものです。視察に先立ち小沢昌記市長にも面会。お互いの特産品を通じた友好を深めました。



文化会館の状況について聞き取りを行う学生

「市へ提言」早稲田大学大学院生

早稲田大学公共経営大学院の教員・学生ら11人が市を訪れ、8月5日から10日まで、夏季集中講座としてフィールドワーク（実地調査）を行いました。市内に4館ある文化会館の活用方策をテーマに、2グループに分かれて提言をまとめました。最終日の10日には職員や市民を前に、現状と課題などを踏まえながら、文化会館の連携による有効活用策について具体的な提言発表が行われました。



花束を贈られ笑顔の佐藤一郎さん

「おめでどう！百歳を祝い2人に記念品」

市は8月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り、長寿を祝いました。佐藤一郎さん（水沢区姉妹町字野中）は現住所地に生まれ、満州事変と第2次世界大戦に計3度出征。戦後になって24歳頃に妻のミナトさんと結婚。2女をもうけ、孫3人、ひ孫6人に恵まれました。長い間ミナトさんと二人三脚で農業に励み、60代からビニールハウスで菊花の作品作りを開始。市内外の展示会で受賞したトロフィーが並んでいます。90代からは写経が日課となりました。

若い時から病気がらずで、金治さんと共に水稲、りんご、養蜂、酪農など農業一筋で働きました。長寿の秘訣は、くよくよしないこと。長寿運動会で1等賞をとることが楽しみでした。趣味は神楽、剣舞、歌舞伎などの郷土芸能鑑賞で、昔から裁縫も得意だったそうです。

えさしおだき 江刺愛宕地区振興会

- 代表者：会長 紺野 忠一
- 人口：5,034人（男2,458人／女2,576人）
- 世帯数：1,644世帯
- 拠点：江刺愛宕地区センター（江刺区愛宕字西下川原 240 ☎☎③ 2411）（平成24年7月31日現在）

結 ⑤ -ゆい-

～30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ5回目は、江刺区の江刺愛宕地区振興会を紹介します。江刺愛宕地区は、江刺区の西端に位置し、北上川を挟んで水沢区・金ヶ崎町と接しています。江刺愛宕地区振興会は、旧江刺市時代の平成元年4月、地区内の各種団体連絡協議会から引き継ぐ形で設立されました。その後、16年に公民館が地区センターに改編されたのを機に、振興会も専門部会制とするなど、組織を拡充。その後、18年2月の市町村合併により、胆沢区の愛宕地区と区別するため、それまでの愛宕地区を江刺愛宕地区に名称変更し、現在に至ります。16年の組織拡充と共に策定したコミュニティ計画では、地区の将来像を「みのりとうるおいの郷おだき」と定めました。この実現に向け、地区振興会の専門部（総務企画、社会福祉、保健衛生、体育振興、生涯学習、生活安全―の各部）が責任をもって事業を企画・実施しています。ここでは多くの事業の中から特徴的な事業を紹介します。



自然観察会で熱心に説明を聞く参加者

「水辺の楽校」の維持管理・活用

北上川と広瀬川の中洲にある「江刺北上川水辺の楽校」は、17年に国土交通省により整備されました。地区センターのすぐそばにあり、地区民の憩いの場として親しまれていることから、地区振興会が中心となり、毎月1回の草刈りやごみ拾いなどの環境整備を行っています。6月には自然観察会が行われ、幼児から高齢者まで約40人が参加。水辺周辺の生物や



広瀬川で水生生物調査を行う児童

植物の観察、野鳥の観察など地域の自然に触れました。また、7月には江刺愛宕小学校と連携し、広瀬川の水質検査を行いました。下川原水辺環境をよくしよう会の皆さんの指導のもと、4年生の児童51人が川の水を採取し、水の中にいる生物を調査。普段親しんでいる川にも、いろいろな生物がいることを知り驚いていました。

ウォーキングのすすめ

健康づくりの一環として、いつでも・誰でも・どこでも、気軽にできるウォーキングの取り組みが年間を通じて行われています。保健衛生部では、この推進



楽しみながら堤防コースを歩く住民

のため、21年にウォーキングマップを作製し、全世帯に配布しました。地区内6つの行政区ごとにコースを設定。マップには、起点・終点、コース、分岐点が分かりやすく表示され、折りたたむとA5判サイズなので携帯できます。ウォーキングを始めようとする人には、便利だと好評です。ウォーキングは、個人で行われるだけでなく、振興会や自治会ごとに、またチャレンジでも行われており、健康の維持増進に一役買っています。